

ネーミングライツのご案内

学内6施設に貴社の名称等を付与していただき、学生・教職員・来訪者が集う空間で貴社名を継続的に発信できる制度です。



15F 鞆啓トップ (東・南西)

最低額 **300万円/年** (税抜)

年間**15,000人**/444.4㎡

主な利用者: **学生・教職員・企業**

市街を望む本学を代表する交流スペースであり、来訪者が最も多い施設です。



14F ラーニングコモンズ

最低額 **150万円/年** (税抜)

年間**10,000人**/240.0㎡

主な利用者: **学生**

多くの学生が利用する学習スペースです。



4F 401・402教室

最低額 **150万円/年** (税抜)

年間**7,000人**/243.4㎡

主な利用者: **学生・教職員・地域**

授業・公開講座・オープンキャンパスで使用する大教室です。



3F PBL演習室

最低額 **150万円/年** (税抜)

年間**7,000人**/243.4㎡

主な利用者: **学生・教職員・企業**

本学の特徴である課題解決演習 (PBL) の専用教室です。



2F 図書室

最低額 **150万円/年** (税抜)

年間**12,000人**/243.4㎡

主な利用者: **学生・教職員・地域**

学生の学びを支える施設です。



1F コミュニティコモンズ

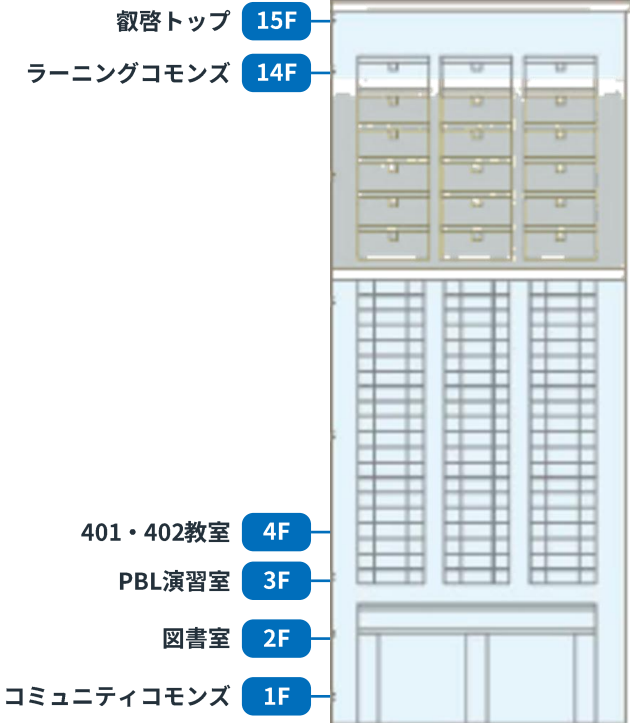
最低額 **100万円/年** (税抜)

年間**5,000人**/80㎡

主な利用者: **地域・学生**

通りに面し、ストリートピアノを設置した地域に開かれた施設です。

対象施設の配置



ネーミングライツのメリットと応募の流れ

ネーミングライツのメリット

命名施設の無償利用

1日 **4** 時間／年間 **4** 回まで利用可能

授業・大学用務のない時間帯に限り、研修・会議・ワークショップ等は無償でご利用いただけます（利用にあたっては事前審査があります）。

広報効果・地域貢献

命名盤やサインで学生・来学者に貴社名を継続的に発信でき、地域・社会貢献としてPRできます。

命名盤・掲示枠の設置例



施設の命名盤
A4～A3程度／施設入口



企業ポスター掲示枠
A2程度／命名施設内



デジタルサイン
1階・授業期間中は毎日表示

※ 命名盤の内容、設置場所及び設置方法は、本法人との協議のうえ決定します。

公募から掲示開始までの流れ（例） 11月に公募を開始した場合



契約期間：原則3～5年（更新時は優先協議）

命名権料：最低額以上を提案（複数施設可）

名称：教育機関として適切なもの（愛称・ロゴ併記も相談可）

応募資格：法人・団体・個人事業主（一部業種を除く）

選定：審査委員会で総合審査（事前見学・相談可）

費用負担：命名盤等の作成・設置・原状回復は事業者負担

※ 命名権料は契約に基づく対価であり、寄附金には該当しないため、寄附金に係る税制上の優遇措置及び謝意の対象外です。

※ 応募できない業種、書類提出先等の詳細は、「広島県公立大学法人ネーミングライツ事業に関する規程」及び募集要項によります。